

47 広田 瑞恵

古本募集に参加
古本（100巻・国際標準図書番号のある本）で募金できることを知りました。昨年は立命館へ（学生の活動のために）今年には日本キリスト教海外医療協力会へ。換金された寄付金が、ネパールやインドネシアで、看護師や助産師になるための教科書代や研修費用として役立つことが出来るのは大変嬉しいです。読んだ本をきれいにとっておき、これからも二回、三回と古本募金に参加していきたいと思っています。

48 田中 啓三

振り返れば、何事もなく、唯ただ生命をつないでいるという感じですかね。未だ悟ることもできず、老子の言葉「足るを知る」には程遠く、欲の多さに嘆き、生老病死のはざままで、喘いではいますが生きています。会報で知る計報には、万感の思いが走り、心細い限り、かくは残る同期の健康を心より祈っています。現在、高知検診クリニックでまだ働いていますよ！

49 吉本 信明

このところ体調ままならず、病院通いを続けています。週一回リハビリの介護に通っていますが、いっこうによくありません。ボケ防止の俳句の会へも欠席ばかりです。
梅一輪力みなぎる寒の入り

50 山本 圭一

五・六年前から、八十八ヶ所巡りをしています。春と秋の気候の良い時限定の暫沢な歩き遍路です。それも後二回で二度目の結願となります。その間、沢山の方々からお接待をいただき、心身共に癒されました。世界観も少し変わりました。終わりましたら、そのお返しをしなければ、と思っております。

51 高教組書記局 上村理恵

高退協ニュース200号、おめでとうございます。私は、書記局勤務8年目になりました。書記局はこの3月、大掃除＆片付けをしました。50年前の議案や古い写真、資料等が発掘されました。今は、書記局の入り口付近の棚に収納して

います。組合や市民運動が活動していくには、集まりたい時に集えて作業できる場が大事だな、と思います。組合員は少なくなっていますが、工夫して長く続く場所を作っていけたらと思っています。

52 ***

四月十八日に八十才になります。健康状態はまずまずですが、物忘れが心配です。（ケイタイ電話には伝言メモがあり、通話を再生して何とか迷惑をかけないようにしています。）春野では、高退協の先生が少なく、私は退婦教の方との活動が多くなっています。

53 胡摩崎 ゆう子

60代も半ばを過ぎ長寿手帳利用も慣れてきました。毎日がゴルフデンウィーク、それなりに過ごしています。人からは、「プレイガイドゴマサキ」と言われる位、何がしかのチケットを扱っています。現在は、五年前に日刊赤旗に連載されていた小説「時の行路」の挿絵を描いていた中西繁さんと共に映画化するために奔走しています。大企業の派遣切りをテーマにしたこの物語、何とか世に訴えたいと思うのです。その運動の一貫としてドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」を5/31に、特攻を描いた「サクラ花」を8/15に上映します。こんなこと傍らで「書」も始めました。溝淵乃婦さんにいただいた？万円の紙や筆を前に、仲々思うように筆が運ばず苦勞しながらですが、少しずつ作品にしていっているこの頃です。

下記の**高退協ニュース**をお持ちの方は、事務局までご連絡下さい。
16, 22, 42, 45~52, 54~74, 76~77, 85号です。これらが揃えばニュースは全て保管出来ますので宜しくお願いします。

酒蔵で憲法9条と教育を語る会 報告

谷内純一

「酒蔵で憲法9条と教育を語る会」が3月12日（土曜日）土佐山田町の松尾酒造でありました。高知高教組の企画。私は①企画が面白い②酒が飲める③憲法九条を守る多様なとりくみ応援の理由で参加しました。参加者数は、総勢24人でした。会は①酒造り工程見学の②松尾社長の話③弁当と酒で懇談と推移しました。松尾酒造の社長の話は新鮮でした。「酒粕はひっぱりだこで売られています、酒が売れないと酒粕も作れ



酒蔵で憲法9条と教育を語る会より

ません。お酒を買ってください」と言っていました。教育について卓見をいくつか述べていました。その一つ、「中学生の万引き歴がある」との理由で志望高校への推薦をされなくて自殺に至った事件は、万引き歴が実は記入ミスであったことがわかり、そのミスしたことが問題になっている。しかし子供は失敗をしながら成長してゆくものである。失敗をしたことを理由に生徒の進路の門戸を開かずという考え方そのものが問題であると思。」と問題提起していました。社長の意見に同感でした。部分的な報告になりましたが、全体として大変楽しい会でした。

退職組合員を励まし高教組新加入を祝う会

高教組青年部書記長 杉本 裕子



退職組合員を励まし新加入を祝う会

三月二十六日（土）高知共済会館において、恒例の「退職組合員を励まし新加入を祝う会」が行われました。昨年度に続いて、二回目の三月末開催となりました。この間の新加入者および退職組合員七名が出席してくださり、お祝いと労をねぎらう会となりました。竹島高教組委員長のおいさつの後、退職組合員からは、これまでの学校現場での仕事のことや組合活動、退職後のことなどについての言葉を一人ずついただいた。熱い想いが出席者の胸に響きました。高教組新加入者からは、組合加入の経緯や仕事への思いなどが語られ、今後の組合拡大への希望となりました。橋元高退協副会長の乾杯のあいさつで懇親会がスタートし、高退協と高教組とあわせて五名の老若男女が、和気あいあいと語り合いました。はじめの会をさせていたいただき、ドキドキの二時間半でしたが、仕事や組合に対する思いなどたくさんのお話を聞ける貴重な機会となり、あっという間に時間が過ぎました。